



現役・OBOG協力隊員による 自伐型林業チーム「津和野ヤモリーズ」

つわのちよう

島根県津和野町は、町の森林を活かすため、地域おこし協力隊制度を活用して、自伐型林業チーム「津和野ヤモリーズ」を編成し、壊れない作業道づくりと長伐期択伐施業による持続可能な林業を軸とした津和野式自伐型林業を実践しています。現在5名が隊員として活動しており、10名が卒業生として山の仕事に携わっています。



島根県津和野町 元地域おこし協力隊 有村 望さん(活動期間:<平成28年度～平成30年度>)

持続可能な環境保全型林業である自伐型林業を学ぶため津和野町へ移住しました。任期中は津和野町で管理している山をフィールドとして、他のメンバーと試行錯誤しながら壊れない作業道づくりと搬出間伐の技術を習得しました。

退任後は、個人事業主として、町内の森林整備を行うとともに、自分で伐り出した木材を用いて木工品の作成・販売などに取り組んでいます。



森林組合への就業と 「緑の雇用」事業によるさらなるスキルアップ

あさひまち

富山県朝日町は、平成27年度から地域おこし協力隊を採用しており、現在は、農業、漁業、交通、DX分野にて7人の隊員が活動しています。林業における元隊員は、勉強と経験を重ね、今では森林整備の中心的担い手、森林組合において大活躍しています！



富山県朝日町 元地域おこし協力隊 瀬川 大輔さん(活動期間:平成30年度～令和元年度)

私は、趣味が山歩きで、朝日岳に登った時に、北アルプスの美しい自然環境に魅了されました。自然豊かな地域での生活や仕事に憧れを持ち、移住をするなら林業をやりたいと思っていました。ネットで検索していたところ、朝日町での林業という形で協力隊の募集を見つけ、応募しました。任期中は、新川森林組合朝日支所に在籍し、林業技術講習に参加するとともに、保育作業や作業道の整備などに従事し、林業技術を習得しました。

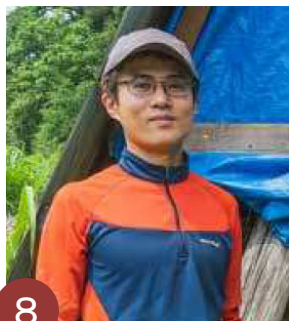
退任後は、同組合に就職し、「緑の雇用」事業を活用しました。引き続き、技術の向上を図りながら、素材生産事業などに従事しています。



協力隊OBが設立した有限責任事業組合に参画

ながはまし

滋賀県長浜市は、豊かな森林資源を有することから、林業の他に、森林ガイドや特用林産物の生産販売、狩猟等による複業型での「自伐型林業」の実践に向けて、地域おこし協力隊を募集しています。



滋賀県長浜市 元地域おこし協力隊 子林 葉さん(活動期間:平成30年度～令和3年度)

両親の移住計画をきっかけに、長浜市との縁が生まれ、地域の人たちと交流する中で、移住への思いを強くしました。父方の祖父が木曾の林業家であったことや自然に囲まれて仕事ができることから、元々、林業に関心があり、自伐型林業の地域おこし協力隊に応募しました。任期中は、林業に必要な資格の取得を中心に、森林整備や樹上作業、炭焼き、庭木の剪定等に取り組みしました。

退任後は先輩隊員が立ち上げた「有限責任事業組合 木民」に所属し、仕事を続けています。



地域の森林資源を活用した木工スタートアップ

～若者の木工起業支援による、森の持続可能な森づくり・まちづくり～

あげまつまち

長野県上松町は、厳しい環境で育つ木曽ひのきが目が詰まり質の高い素材として古くから木材産業を支えてきました。「木工の東大」とも呼ばれる上松技術専門校(職業訓練校)には、毎年全国から木工を志す若者が集まり1年間の訓練期間を上松町で過ごします。地域おこし協力隊制度と連携し、技術専門校の修了生が町内で木工起業をするための体制づくりと、町の豊かな森林・木材資源を活かした製品の特産化・PRに取り組んでいます。



長野県上松町 元地域おこし協力隊 小林 信彦さん(活動期間:平成30年度～令和2年度)

地域おこし協力隊の3年間では、町内の空き工房を改修して技術専門校OBが木工起業をするための拠点を整備したり、商店街の空き店舗を活用し木工製品を展示・PRするギャラリーをリノベーションしました。

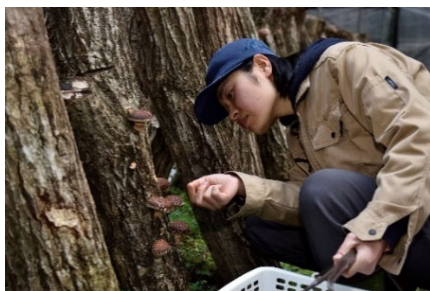
卒隊した今でも住民の一人として、「技術専門校に集った若者たちが、木工・林業を生業として自分らしく生きることができるまち」を目指して活動しています。



自然豊かな地域で「半農半しいたけ」の複合経営

やまぐちし

山口県山口市は、外部人材を活用し、地域活力の維持・強化を図るため、地域おこし協力隊を採用しており、現在活動中の隊員は、本市の特産品であるりんごの伐採材を活用したワークショップの開催や木のおもちゃによる木育活動、森林が持つセラピー機能を活かしたテントサウナの体験など、本市に豊富にある森林資源を活かした魅力の発信に取り組んでいます。



山口県山口市 元地域おこし協力隊 今仁 有希さん(活動期間:令和元年度～令和4年度)

里山地域で暮らし林業に関する仕事がしたいと考え、山口市徳地に移住しました。任期中は山口県椎茸農業協同組合で流通や販売について学び、生産者の方々と交流を図りながら原木しいたけ生産の現状など情報収集をしました。技術の習得では人工ほだ場を利用した栽培を行い、先輩生産者から原木伐採の手順や機械操作、植菌から収穫まで現場ならではのコツや注意点などを教わることができました。

退任後は就農し「半農半しいたけ」の複合経営で地場製品の生産拡大と新規生産者の獲得に繋げていけるよう活動を続けています。



「森林サービス産業」で地域おこし

しろうし

兵庫県宍粟市は、自然豊かな特色を活かし、森林セラピー®・宍粟50名山・マウンテンバイクなどの森林にまつわる様々なアクティビティを展開しています。企業の健康経営をターゲットとして、森林を活用したワークショップやメンタルヘルスなどの取組を進めています。



兵庫県宍粟市 元地域おこし協力隊 加藤 智子さん(活動期間:平成28年～平成30年)

森林×健康づくりという内容に興味を持ち、地域おこし協力隊として3年間森林セラピー®の活動をしてきました。

任期満了後も定住し、森林セラピーガイドの活動を続けています。現在、新たな森林セラピーメニューの企画・開発にも力を入れています。